

## 放射性医薬品の開発・製造・利用の促進及びそのサプライチェーン強化に関する 専門部会の設置について

令和 8 年 4 月 15 日

原子力委員会

### 1. 目的

原子力委員会は、医療用ラジオアイソトープの製造・利用を推進するため、令和 4 年 5 月に「医療用等ラジオアイソトープ製造・利用推進アクションプラン」（以下、「アクションプラン」という。）をとりまとめ、関係府省庁等における取組を促進してきた。

放射性医薬品を巡っては、全身に転移したがん等の治療に有効であると見込まれ、世界的に開発・提供が加速している。こうした状況変化を踏まえ、原子力委員会は、令和 7 年に関係機関からヒアリングを行い、同年 12 月に「医療用ラジオアイソトープを巡る状況に関するヒアリングのまとめ」を策定した。その中では、放射性医薬品の開発・製造・利用及びその安定的な供給の確保に向けて、政策的対応が必要な新たな課題が多く出てきていることを確認してきた。

我が国において、世界に遅れることなく、全身に転移したがん等の治療をはじめ、様々な分野での活用が期待されている放射性医薬品の開発・製造・利用が進むことは、我が国の医療体制の充実、ひいては、国民の福祉向上だけでなく、経済活性化の観点からも重要である。こうしたことから、政府としても、適切かつタイムリーに政策的対応を図っていく必要がある。

以上を踏まえ、原子力委員会の下に、「放射性医薬品の開発・製造・利用の促進及びそのサプライチェーン強化に関する専門部会」を設置し、今後の政策的対応について審議することとする。

### 2. 審議内容

- (1) 放射性医薬品の開発・製造・利用の促進及びそのサプライチェーン強化に向けた今後の政策的対応のあり方について
- (2) その他

### 3. 構成員等

別紙 1 のとおりとする。

関係府省からのオブザーバーについては、別紙 2 のとおりとするが、各回の議論によりオブザーバーを追加するものとする。

#### 4. その他

放射性医薬品の開発・製造・利用の促進及びそのサプライチェーン強化に関する専門部会の運営に当たっては、原子力委員会専門部会等運営規程を適用する。

放射性医薬品の開発・製造・利用の促進及びそのサプライチェーン強化に関する  
専門部会 構成員

【原子力委員会】

上坂 充 原子力委員会 委員長  
直井 洋介 原子力委員会 委員  
吉橋 幸子 原子力委員会 委員  
畑澤 順 原子力委員会 参与

【専門委員】

飯森 隆志 千葉大学医学部附属病院 放射線部 診療放射線技師長  
日本診療放射線技師会  
日本放射線技術学会 副代表理事  
日本核医学技術学会  
日本医学物理学会

五十嵐 道子 フリーランスジャーナリスト

奥山 智緒 滋賀県立総合病院 臨床研究センター PET イメージング部門  
上席専門研究員  
日本核医学会 評議員  
日本核医学会 PET 核医学委員会 委員

北岡 麻美 日本アイソトープ協会 医薬品部 次長

志田原 美保 東北大学大学院 工学研究科 准教授  
日本核医学会 評議員

土井 俊彦 国立がん研究センター東病院 病院長

永富 英記 日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 研究基盤技術部長

中野 貴志 大阪大学 核物理研究センター長

村上 雅人 日本放射性医薬品協会 副会長  
PDRファーマ株式会社 代表取締役社長

吉井 幸恵 リンクメッド株式会社 代表取締役社長

放射性医薬品の開発・製造・利用の促進及びそのサプライチェーン強化に関する  
専門部会 オブザーバー

内閣府 健康・医療戦略推進事務局

復興庁 福島国際研究教育機構室

外務省 軍縮不拡散・科学部 国際原子力協力室

文部科学省 研究振興局 研究振興戦略官付

文部科学省 研究開発局 原子力課

厚生労働省 医政局 地域医療計画課

厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課

厚生労働省 医政局 研究開発政策課

厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課

厚生労働省 医薬局 医薬品審査管理課

経済産業省 製造産業局 素材産業課

経済産業省 商務・サービスグループ 生物化学産業課

※ 原子力規制庁は、ラジオアイソトープの規制や廃棄物という規制にも関わりのある議論がある会合には、参加いただくこととする。